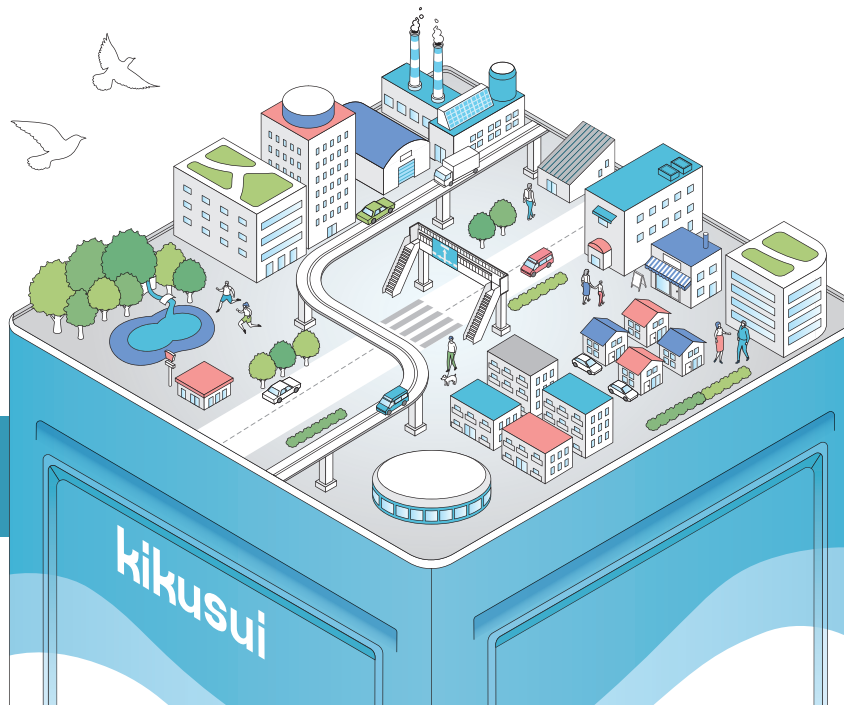


第69期 株主通信

2025年4月1日▶2026年3月31日

kikusui



株主のみなさまへのメッセージ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。2026年6月26日に開催されました第69期定時株主総会及び同日開催の取締役会をもちまして、新しく代表取締役社長に就任しました遠山眞樹です。現在、私たちを取り巻く環境は、地政学リスクの高まりやエネルギー価格の変動、急速な技術革新など、かつてない不透明な状況にあります。このような変革期において舵取りを担うことの責任の重さを、身の引き締まる思いで受け止めております。就任後は、新体制のもと、全役職員が一丸となって、みなさまの期待に応えるべく挑戦を続けてまいります。今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
遠山 眞樹

名誉会長
遠山 昌夫

取締役会長
今井田 広幸

事業活動

当社グループは、サステナビリティ経営を推進する上で、「Repaint the future」を2050年までの方針として掲げ、地球温暖化をはじめ、様々な環境問題に対して、何ひとつ犠牲にすることなく、明るい未来へ続いていく環境共生社会の実現を目指し事業を展開しています。また、事業と直結する「製品を通じた街づくり」、事業の強みを訴求する「事業を通じて困りごとの解決」、事業推進を向上させる「安心して働ける環境づくり」、事業推進の基盤となる「ガバナンスの強化と充実」をマテリアリティとして、環境に配慮した製品の普及・提案、SDGsの活動、風通しの良い社内環境の整備などを通じて、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



誇りと信念をもったものづくり

当社グループを取り巻く環境は、ストック物件が増加している改修市場を中心に、高耐候性、低汚染性、遮熱性など、高付加価値製品へのニーズが高まっています。その中で、2026年3月期から2028年3月期の中期経営計画では、創業精神をもとに「誇りと信念をもったものづくり」を基本方針に掲げ、建物や構造物の困りごと「環境対策」「省エネ対策」「美観回復」「剥落対策」「機能回復」「漏水対策」を、当社グループの「6つのソリューション」として、製品の開発、製造、販売と、完成塗膜を提供する責任施工で、持続的な企業価値向上に向け事業を推進してまいります。（2025年7月15日適時開示）

〈重点施策〉

- 1 信頼の獲得**…………… 環境に配慮した製品の普及・提案／働き方改革の推進／地域社会への貢献／建物の長寿命化に貢献する製品拡充／責任施工プラットフォームを拡大
- 2 需要の創造**…………… 社会インフラ市場の新規開拓／新規事業領域への進出を模索／固定資産の有効活用／製品原価の低減
- 3 経営基盤の強化**……… 営業利益率5%以上の基盤整備／ROE5%以上／自己資本比率50%以上の確保／Well-beingの向上／風通しの良い環境づくり

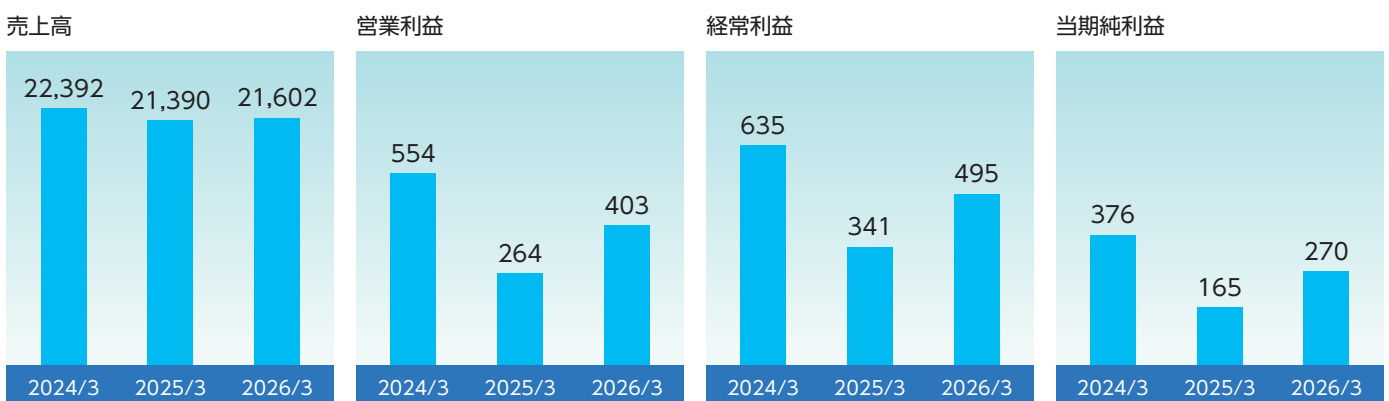
〈経営目標〉

項目 (連結)	2026年3月期 (予想)	2028年3月期 (目標)
売上高	225.0億円	250.0億円
営業利益	6.5億円	10.0億円
ROE	期間中5%以上、2030年までに8%を目指す。	
自己資本比率	50%以上を確保する。	

業績ハイライト ※単位：百万円

当連結会計年度においては、ストック物件を維持・メンテナンスする改修市場を中心に、建物や構造物の「困りごと」を解決する取り組みで、製品及び工事受注の拡大に努めました。しかし、原材料及びエネルギー価格の高騰による物価高、人手不足の深刻化などの影響もあり、住宅塗り替え及びマンション修繕での需要が、依然として低調に推移する環境下での活動となりました。

その中で、建物や構造物の「困りごと」として、アスベストの除去や飛散防止を含む「環境対策」、屋根・壁に遮熱・断熱塗材を施工することで「省エネ対策」、劣化した壁面の質感・色彩を復元する「美観回復」、外壁の落下を抑止する「剥落対策」、中性化・塩害などにより劣化したコンクリート構造物の「機能回復」、内壁・地下ピットなどにおける「漏水対策」を解決する製品・工事などの高付加価値提案が、当社の社会的使命と捉え活動してまいりました。



世界文化遺産「軍艦島」での挑戦

世界遺産でもある端島炭坑（通称『軍艦島』）にて実施された「端島70号棟における補修材の効果検証に関する試験施工」に参画し、当社の提案製品・工法で施工を行いました。

〈目的〉

当社がサステナビリティ経営で掲げるマテリアリティ「事業を通じて困りごとの解決」と、SDGsのターゲット11.4「世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する」の目標達成に向けた取り組みです。長年にわたり培ってきた無機・セメント製品の技術と叡智を結集させ、軍艦島に建つコンクリート構造物の長寿命化の一翼を担ってまいります。

Webページは
こちら



動画は
こちら



公式 YouTube チャンネルを開設しました

2025年7月 YouTubeチャンネル『Kikusui LABO』を開設いたしました。本チャンネルでは、当社の最新情報やおススメ製品の紹介など、ものづくりメーカーだからお見せできる動画を配信してまいります。

今後も、透明性の向上と情報発信の充実を図り、株主のみなさまにより一層ご理解いただけるよう努めてまいります。



公式チャンネル
はこちら



健康経営優良法人(大規模法人部門)認定を 3年連続取得しました

経済産業省の健康経営優良法人認定制度により、優良な健康経営を実践している大規模法人として「健康経営優良法人2026」に認定されました。今後も、従業員とご家族の心と身体の健康保持・増進に向けた取り組みを進めてまいります。

※ACTION!健康経営（健康経営優良法人認定事務局ポータルサイト）健康経営優良法人2026大規模法人部門に記載されています。
https://kenko-keiei.jp/houjin_list/



会社概要及び株式の状況

商号 菊水化学工業株式会社
本社 〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄1-3-3AMMNATビル
TEL/FAX (052)300-2222(代) / (052)300-1234
創業 1959年5月21日 (昭和34年)
資本金 1,972,735,695円
事業内容 特殊機能材料・建築仕上材の製造・販売・施工、建築、
土木材料、機械器具の製造販売

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 34,000,000株
発行済株式の総数 12,538,336株
(自己株式205,718株を除く)
株主数 6,680名

大株主 (2026年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
菊水化学工業取引先持株会	1,046	8.34
株式会社ティー・サポート	910	7.26
菊水化学工業社員持株会	587	4.68
株式会社名古屋銀行	520	4.15
株式会社あいち銀行	405	3.23
株式会社大垣共立銀行	174	1.38
長瀬産業株式会社	162	1.29
加藤 丈博	157	1.25
浅海 正義	153	1.22
いずも産業株式会社	141	1.12

(注) 持株比率は自己株式205千株を控除して計算しております。

役員 (2026年6月26日現在)

代表取締役社長 遠山 眞樹
取締役会長 今井田 広幸
常務取締役 中原 章義
取締役 稲葉 信彦
取締役 村山 直樹
取締役(社外) 川合 伸子
取締役(社外) 浅賀 哲
取締役(社外) 中嶋 善明
常勤監査役 鈴木 彰
監査役(社外) 服部 郁
監査役(社外) 水野 晋一

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告方法	電子公告の方法により行います 公告掲載URL https://www.kikusui-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、 日本経済新聞に公告いたします。)

